



ゆのおっ子だより

令和7年度 湯尾小学校長だより
2025.9.11 NO. 23

— もり人から学ぶ・・・ —



10日(水)に「みんな集まれ!もり人づくり事業」がありました。この事業には、5年生が参加しました。

この事業は、子どもたちが「森の働きの重要性」や「森を守り育てる林業の大切さ」を実際に現地に行って体験するというものです。5年生の3学期の社会科学習の中に、「わたしたちの生活と森林」というところがあります。林業を学習するところです。その中で、「森の働きの重要性」が取り上げられており、「森を守ることが、全てに繋がっている」ということを学びます。その一環として、今回この林業体験を行いました。



安全のために、ヘルメットかぶっての体験です。もり人と一緒に撮りました。

今回訪れたのは、今庄地区杉谷の山です。そこでは、山で働く人の仕事について教えていただきました。森林を育てるために、下草を刈ることや木の枝を切ること、そして「間伐」と言って日当たりを考えて木を切ることを学びました。とても重要な仕事なんだということが分かりました。(講師の方に、湯尾地区の川端さんもおられました。)

このお話の後に、実際に木を切るところを見せてもらいました。チェーンソーで大きな木が切られるところは、圧巻でした。



チェーンソーで切る前に倒れる方向を決めるための溝をつけます。



ノコギリでは、本当に大変でした。この後、チェーンソーであつという間にきれいにしました。

この後、実際に「枝打ち」という作業を体験しました。ノコギリで大きな木に付いている細い枝を切りました。2人1組になつて切りました。ノコギリで切るのはちょっと大変でしたが、上手に切ることができました。

この学習は、これで終わりではありません。この後、この現場で切つた間伐材で魚のすみかを作ります。子どもたちは、このすみか作りを少し手伝うことになっています。できあがつたすみかは、河野の海に沈める予定です。その時には、森と海のつながりをきつと実感することになると思います。その時が、楽しみです。